※令和４年度以降入学生用

学校番号	１００５

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	公共	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「新版　公共」（数研出版）						
副教材等	「ｽﾞｰﾑｱｯﾌﾟ公共資料」（実教出版） 「高等学校 公共 －これからの社会について考えるー 整理ノート」（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、現代の諸課題を考察するための概念や理論について学習したり、現代の諸課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行ったりします。ただ、用語を覚えるだけでなく、常に「なぜ」の視点をもちながら現代社会の諸課題について考えてみましょう。
・授業中のノートについては板書を書き写すだけでは評価の対象になりません。授業のポイントや自身で気付いたこと、教員やクラスメイトの発言をよく聞き、ノートに記入しましょう。

２　学習の到達目標

・現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに，諸資料から，倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
・現実社会の諸課題の解決に向けて，選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
・よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される，現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や，公共的な空間に生き国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，各国が相互に主権を尊重し，各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	選択・判断の手掛かりとなる概念や理論、及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。	国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	公共的な空間をつくる私たち	青年期と自己形成	a：青年期は自立や自律をはかる重要な時期であることを理解している。 b：自己形成の課題について考察し、表現している。 c： ・よりよく生きることについての自覚を深め，社会の一員としての自覚を深め，自分の生き方を選択し，自己実現をしようとしている。	定期考査	定期考査	提出課題
		人間としての自覚	a：古代ギリシアや中国の思想家の思想や三大宗教の内容が理解している。 b：先哲の思想や宗教に着目し、自分自身の生き方に与えている影響について考察し、表現している。 c：先哲の思想や生き方から自分自身の生き方を検証し，参考にできることはないか主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査	提出課題
		日本人としての自覚	a：古代・中世・近世・近代の日本の思想家の思想内容が理解している。 b：生活文化や伝統に着目し、自分自身の生き方に与えている影響について考察し、表現している。 c：日本の伝統思想や文化，受容した外来思想から自分自身の生き方を検証し，参考にできることはないか主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査	提出課題

※令和４年度以降入学生用

	公共的な空間における人間としてのあり方生き方	西洋近現代の思想	a：近世・近代・現代の世界の思想家の思想内容が理解している。 b：先人の生き方に着目し、自らを成長させる人間としての在り方生き方について考察し、表現している。 c：選択・判断の手掛かりとなる考え方を理解し身につけようとしている。	定期考査	定期考査	提出課題
		現代の諸課題と倫理	a：地球環境問題，資源・エネルギー問題，生命科学や情報技術の進展などの事象について理解している。 b：公共的な空間における人間としての在り方生き方に着目し、選択・判断の手掛かりについて考察し、表現している。 c：選択・判断の手掛かりとなる考え方を使って，現代の諸課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査	提出課題
	公共的な空間における基本原理	民主社会の基本原理	a： ・法などの社会規範の役割が理解でき，日常生活と関連づけて考察し、民主政治のあゆみが理解している。 b：民主政治に着目し、国家と個人のあり方について考察し、表現している。 c：民主政治が自らの生活とかかわっていることを理解し，民主社会に主体的に生きる人間のあり方生き方について思索を深めようとしている。	定期考査	定期考査	提出課題

※令和４年度以降入学生用

		日本社会の基本原理	a: ・日本国憲法の三大原理や第９条の内容や日本国憲法で保障されている権利を理解している。 b: ・日本国憲法で保障されている権利がどのような具体的事件に適用されているのかを調べ，その保障と他者の権利や公共の利益との調和について考察し、表現している。 ・国際情勢の変化にともない，日本の平和主義のあり方がどう変化していったのかについて考察し、表現している。 c: ・男女間や国籍の違いなど，身近なところで人権が保障されているか新聞記事などで調べ，報告でき，日本国憲法の基本原理に基づいた社会のあり方について，自分なりに構想しようとしている。	定期考査	定期考査	提出課題
2	現代の民主政治と政治参加の意義	日本の政治機構	a: ・日本国憲法に見られる三権相互の関係とそれぞれの役割を理解している。 ・行政機能が拡大している現状を理解している。 b: 行政機能拡大の是非について着目し、主体的に考察し、表現している。 c: 模擬裁判などを通して，司法に関心を持ち，裁判員制度の意義をふまえ積極的に参画しようとしている。	定期考査	定期考査	提出課題

※令和４年度以降入学生用

2	現代の民主政治と政治参加の意義	政治参加と民主政治の課題	a: ・選挙のしくみ、政党の役割、地方自治の現状と課題を理解している。 b: ・選挙制度によって政党政治の形態が変化することに気付くことができ，各党の綱領を調べ，日本の政治について課題を発見し，解決するために構想し，表現している。 c: ・議会の見学や住民運動・消費者運動など，身近に自らが参加できる機会を発見し，主権者として参加しようという意欲を持つことができ，模擬投票などの実施により，政党や選挙を身近に捉えしようとしている。	定期考査	定期考査	提出課題

※令和４年度以降入学生用

2	現代の経済社会と経済活動のあり方	経済のしくみと市場機構	a: ・現代の企業の果たしている役割や市場経済のメカニズム、各種経済指標を理解し，その指標の動向を読み解く技能を身に付けている。 b: ・現代の企業倫理について考察し、表現している。 ・現代の資本主義経済でケインズ主義の有効な部分と改善すべき部分が判断でき，需給曲線に着目して，どのような場合に価格が変動するのかについて考察し、表現している。 c: ・市場機構だけでは解決できない経済的課題も多く，市場機構を修正している具体例を指摘でき自らの生活と結び付けて経済について，よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査	定期考査	提出課題

※令和４年度以降入学生用

2		財政と金融	a: ・政府が経済に果たしている役割を理解している。 ・金融・財政のしくみを理解し，経済状況に応じて適切な手段を提示できる技能を身に付けている。 b: ・GDP が大きいことが豊かさにつながるのかどうか，豊かさについて自分なりに判断でき，不況や好況など景気の先行きが判断でき，自ら経済の動向について構想し、表現している。 c: ・消費税や所得税などの税金の使途に関心をもち，超低金利が続く日本社会の現状について主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査	提出課題
2		日本経済の発展と変化	a: ・戦後日本経済のあゆみと産業構造の変化と職業選択との関係や，中小企業や農業の果たしている役割と現状を理解している。 b: 経済のサービス化に着目し，国民生活にどのような変化をもたらしたかについて考察し、表現している。 c: 経済社会に主体的に生きる一員として，今後の日本経済について，よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査	定期考査	提出課題

※令和４年度以降入学生用

3		豊かな生活と福祉の実現	a: ・私法、契約の原則やその修正について理解している。 ・雇用、労働問題や社会保障について理解している。 b： ・公害がなぜ発生したのかについて考察し、表現している。 ・雇用、労働問題や社会保障、福祉について課題を発見し，解決の方法について構想し、表現している。 c: ・失業率や公共事業のあり方に関心を持ち，新聞などで情報を集め，意欲的に現在の日本経済を探究しようとしている。 ・雇用、労働問題や社会保障、福祉の課題について主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査	提出課題
3	国際社会の動向と日本の役割	国際政治の動向	a: ・国際法の意義や国際紛争を解決する機関の役割を理解している。 ・国際連盟・国際連合の組織と役割を理解している。 ・冷戦の成立とその終結後の国際政治の流れを理解している。 b: ・集団的安全保障がなぜ有効なのに着目して，国連の現状と課題について考察し、表現している。 c: ・国際社会で平和と安全を維持するため何が有効なのか，自ら意見が持て他者と意見の交流ができ，国際社会の中で戦後日本の歩みを考察し，将来の展望について，よりよい社会の実現を視野に，主体的に構想しようとしている。	定期考査	定期考査	提出課題

※令和４年度以降入学生用

3		国際政治の課題と日本の役割	a: ・国際社会の中で平和主義を掲げる日本の役割が理解できている。 ・核軍拡から核軍縮への流れが理解できている。 ・現代の世界の紛争や人権問題について理解できている。 b: ・留学生や国際 NGO と接することにより，国際化を身近に体験し，国際社会の諸問題について判断でき，国際問題について自分なりの意見を持ち，他者に説明できている。 c: ・民族紛争や難民問題など国際政治問題について日常から関心をもち，留学生や国際 NGO と接することにより，国際化を身近に体験し，国際社会の諸問題について主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査	提出課題

※令和４年度以降入学生用

3	国際社会の動向と日本の役割	国際経済の動向と国際協力	a: ・貿易や外国為替相場について，そのしくみを理解している。 ・戦後の国際経済の流れを理解している。 ・地域経済統合が進んでいる世界の現状を理解している。 ・外務省や国連のホームページなどを参照し，国際社会や各国の課題を整理する技能を身に付けている。 b: ・円高などの為替相場の変動に着目し，経済にどのような影響を与えるのかについて考察し、表現している。 ・発展途上国の現状を知り，貧困や飢餓などの克服のために自らがどのようなことができるかについて構想し、表現している。 c: ・発展途上国の貧困・飢餓や国際社会における日本の役割について関心をもち，国際社会の課題について主体的に追究しようとしている。 ・グローバル化した国際経済について，よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査	定期考査	提出課題

※令和４年度以降入学生用

3	持続可能な社会づくりの主体となる私たち	課題探究の観点	a: ・現代社会に生きる私たちの課題を指摘し，現代社会の諸問題について，その問題の所在，現状，問題点などを理解している。 b: 現代社会の諸問題の解決のために，事実を基に協働して考察，構想し，表現している。 c: ・さまざまな課題の中で，自己とのかかわりに注目して主体的に課題を選択し，探究しようとしている。 ・それぞれが選択した課題について，今後も継続して探究しようとしている。	定期考査	定期考査	提出課題
3		課題探究の手引き	a: 現代社会の諸問題について，探究するための資料を収集・選択し，的確に分析する技能を身に付けている。 b: 現代社会の諸問題を多角的・多面的に考察し，その内容をレポートや口頭発表などによって的確に表現している。 c: 現代社会の特質から生じる価値の対立について，討論やディベートなどさまざまな方法を活用して主体的に探究しようとしている。	定期考査	定期考査	提出課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度